

令和5年度 おおい町中山間地域等直接支払制度実施状況

1 各集落協定の交付対象面積及び交付額

(単位: m²、円)

No.	集落協定名	田		畑		交付面積	交付額	負担割合		
		通常基準(8法内)	通常基準(8法内)	うち 加算額	国費			県費	市町村費	
		急傾斜 21000円/10a	急傾斜 11500円/10a							
1	久保集落協定	13,880	0	13,880	291,480	0	145,740	72,870	72,870	
2	長井区地域資源保全会	11,389	0	11,389	239,169	0	119,584	59,792	59,793	
合 計		25,269	0	25,269	530,649	0	265,324	132,662	132,663	

3 集落戦略

No.	集落協定名	集落戦略の作成状況		集落戦略の内容															
		作成中	作成済	協定農用地の将来像(ha)							協定農用地の将来像を踏まえた集落の現状(協定数)								
				管理者が引き続き耕作	後継者が耕作を継承	担い手等に引き受けってもらう(受け手が決まっている)	担い手等に引き受けよう(希望(受け手が決まっていない))	中間管理機構への貸し付けを希望	草刈り等管理のみ	その他	担い手が確保できているが、全ての委託希望は受けられない	担い手が確保できているが、農業所得が低い	担い手が確保できていない	耕作を継続したいが、耕作条件の悪い農地がある	耕作を継続したいが、農道等の管理が過重な負担となっている	鳥獣被害が深刻であり、耕作意欲が減退している	集落の自治(コミュニティ)機能が低下しており、生活に支障・不安が生じている	その他	
1	久保集落協定		○	○	○	○	○	○			○		○			○	○		○
2	長井区地域資源保全会		○	○	○			○	○		○								
合計		0	2	2	2	1	1	2	1	0	2	0	1	0	0	1	1	0	1

4 集落戦略

(単位:協定)

No.	集落協定名	集落戦略の内容																	
		集落の現状を踏まえた対応の方向性											具体的な対策に向けた検討						
		耕作放棄の懸念はなく、集落の課題もないことから、対策は不要	協定内で担い手を育成・確保	協定外で担い手を確保	基盤整備等に耕作条件を改善	農産物の高付加価値化により所得の向上を図る	新たな作物の導入により所得の向上を図る	省力化技術の導入や外注化により労働負担の軽減を図る	耕作継続が困難な農用地の林地化	放牧利用による農用地の管理	鳥獣被害防止対策の実施	集落の自治（コミュニティ）機能の強化	その他	特に懸念はなく、協定参加者で実施していく	協定参加者は困難であり外部（県・市町村）からの助力を得たい	参加者が検討したい	他の協定との広域化を考えたい	中山間地域等直接支払金の加算措置を活用したい	対策に活用可能な補助事業等を紹介したい
1	久保集落協定			○					○		○		○		○				○
2	長井区地域資源保全会	○	○											○					
合計		1	1	1	0	0	0	0	1	0	1	0	1	1	1	0	0	1	0

4 集落戦略

(単位：協定)

No.	集落協定名	集 落 戦 略 の 内 容					その他
		農業生産活動等の継続のための支援体制					
		農地所有適格法人が支援する	JAが支援する	集落営農組織が支援する	農業者が支援する	協定参加者で役割分担しつつ、農用地の維持管理を行う	
1	久保集落協定					○	
2	長井区地域資源保全会					○	
合計		0	0	0	0	2	0